

室津祭

7月14・15日の両日、奥尻町三大祭の第二段として「室津祭」が開催されました。

今年は、両日も強風が吹き荒れる悪天候の中、協賛行事では一部のプログラムで変更を余儀なくされましたが、2日間で延べ約1千500名の人出がありました。

この室津祭は、漁業者らが室津島へ漁船で渡り、「室津嶋神社」に大漁祈願や海上安全を願う「海のお祭り」として毎年行われているものです。

その願いに協賛し、協賛行事のプログラムを合わせて実施していますが、その結果についてご紹介します。



合同演奏は息がぴったり

青中・奥尻吹奏楽団 プラスバンド大会

青苗中学校と奥尻吹奏楽団による合同の「プラスバンド演奏」が行われました。演奏したのは、青苗中学校吹奏楽部6名と奥尻吹奏楽団12名の合わせて18名で、強風によって楽譜が飛ばされたりする中、会場内には合同演奏とは思えないほどのきれいな音色のハーモニーが響き渡っていました。また、声援に詰め掛けた観衆から大きな拍手とアンコールの声が沸き上がり、演奏者たちはみんなとても満足していました。

HACのキャビンアテンダントがクイズを出題



HACキャンペーン

奥尻・函館間を結ぶ航空機の利用促進を図るため、「HACキャンペーン」が行われ、「○×クイズ」航空券などが当たっていました。

3年連続でこのゲームに参加しているグループに



ステージイベント「クイズ・あわびでドン！」

毎年、室津祭の開催時期には、観光客で奥尻島の宿が満杯状態となり、今年もほぼ満杯となっていました。今年はいにくの強風で、お祭り会場に足を運ぶ観光客は例年より少なかったようです。その少ない中でも来場している観光客を対象に、「ステージイベント・クイズあわびでドン！」が行われ、約40名の観光客が参加しました。この企画は、奥尻町の特産品である「あわび」を任意で袋に入れ、その重量を当てる簡単なゲームで、高級食材が簡単にもらえるとあって、観光客は目の色を変え、しかも楽しみながらゲームに挑んでいました。中には、3年連続で奥尻島に観光で訪れ、このゲームに参加している若者グループが今年も参加し、あわびをゲットして大喜びしていました。

有料ビンゴ

この日最後のプログラムとして、「有料ビンゴ」が行われました。この有料ビンゴは、中学生以上限定でビンゴカード希望者に1枚500円で販売し、家電製品などの豪華な景品が当たるもので、約200名が参加して運試しに挑みました。一番最初にビンゴとなった方は景品の中で最も高価な「除湿器」を見事にゲットしました。なお、有料ビンゴの景品は、毎年予算額10万円 で地元大型安売店などから購入していましたが、地元の一般商店からもっと購入してほしいとの要望があり、今年は各商店から分散して景品を購入しています。



バンド演奏

地元のアマチュアバンドによる「バンド演奏」が行われ、若者向けの熱狂した演奏が次々と披露されていました。



7/14 (土)

歌謡ショー

民謡界の大御所・鎌田英一さんによる「歌謡ショー」が行われ、新曲「勝鬨(かちどき)ほっかい甚句」をはじめ全16曲が披露されました。鎌田さんは予定時間を超えるほど熱唱し、会場から大きな拍手と声援が沸き起こっていました。

熱唱する鎌田英一さん



協賛会行事・海上渡御

協賛会の行事として「海上渡御」が行われましたが、今年度は海上が時化のため、室津島への渡航や漁船パレードが中止となり、漁港内で儀式のみが行われました。



写真で綴る

協賛会行事・大漁祈願もちまき

「海上渡御」終了後、ステージ前で大漁祈願もちまきが行われました。



協賛会行事・ステージイベント

協賛会の行事として女性や観光客、一般などを対象とした「ステージイベント」が行われ、ユニークなゲームで次々と景品をゲットしていました。参加者たちは楽しみながらゲームに夢中となり、中には豪華な景品が当たって大喜びする方、はずれてがっかりする方など盛り上がりを見せていました。



2007 奥尻島走友会夏合宿

▲元気よくスタート

奥尻走友会（会長・井口順一）の呼びかけで、この室津祭にあわせて「奥尻島走友会夏合宿」が今年も企画され、同走友会のメンバーと町外からの参加者37名がハーフマラソン記録会に挑みました。室津祭特設会場をスタート・ゴール地点とし、お祭りの来場者が応援する中、10キロと20キロハーフコースで参加者全員が完走しました。「今年は強風のためにきつかった」との感想をのべる方が多かったようですが、苦勞の末に完走を成し遂げた満足感や達成感に浸りながら、参加者たちがお互いに健闘を讃え合っていました。

7/15 (日)

▲海の幸味三昧も大人気



協賛会行事・陸上ボート早引き競争

協賛会の行事として「陸上ボート早引き競争」が行われました。

この日は協賛会の行事として「ボート漕ぎ大会」、「海上ハッピー渡り」、「ボート早引き競争」、「活イカ釣り大会」などが予定されていましたが、あいにくの強風から参加者の安全を図るため、すべて中止することに決定したものの、各大会エントリー者のために、急きょ陸上でできるこの競技に変更したものです。海の上のボートに変わって陸上で引く木製のボートは、急きょこの日の朝に製作したもので、子どもの学年や各部門によって重量調整をし、即興とはいえ、海上にも劣らない賑わいぶりを見せました。なお、各部門の上位入賞チームは次のとおりです。

【小学生の部・タイム競技】(21チーム84名参加)

- ▶優勝 野球男チーム (奥尻小) 29秒70
- ▶準優勝 SMILEチーム (奥尻小) 31秒31
- ▶第3位 ホワイトチーム (青苗小) 33秒17
- ▶大変頑張ったで賞……ポッチャマチーム (奥尻小1年)
- ▶懸命に引っ張ったで賞……奥尻元気っ子チーム (奥尻小2年)
- ▶来年は優勝で賞……ちよいばかチーム (青苗小5年)
- ▶やる気マンマンで賞……レインボー2チーム (青苗小2年)

【女性・観光客の部・タイム競技】(13チーム52名参加)

- ▶優勝 マルチビタミンズチーム (青苗小教諭) 19秒26
- ▶準優勝 全道に行くのにお金がほしい青苗中チアガールチーム (青苗中教諭) 20秒52
- ▶第3位 マナフィーチーム (一般女性) 22秒01
- ▶敢闘賞……おかめチーム (一般女性)

【大人の部・トーナメント戦】(10チーム40名参加)

- ▶優勝 全道に行ってきますチーム
- ▶準優勝 奥尻島走友会チーム
- ▶第3位 奥尻投人会チーム、青苗中学校芸能チーム

※プログラムとして予定していましたが「ボート漕ぎ大会」、「海上ハッピー渡り」、「ボート早引き大会」は、悪天候のため中止となり、急きょその参加者で「陸上ボート早引き大会」に変更して開催されました。なお、「活イカ釣り大会」は、悪天候のため中止となりました。

▲盛り上がった陸上ボート早引き競争

子どもビンゴ大会

室津祭プログラムの最後を飾る「子どもビンゴ大会」が行われ、小学生以下の子どもを対象としたちびっ子約190名が参加してビンゴを楽しみました。今回一番最初にビンゴとなった子どもは森愛佳ちゃん(字球浦)で、待望の「ニンテンドーWii」が贈られると、会場から大きなため息がもれていました。でも、景品の花火やおもちゃ、お菓子などが次々と当たり、ビンゴとならなかった子どもたちにも最後に缶ジュースなどが配られ、参加したちびっ子全員が景品を手にして喜んでいました。

